

アキュラホーム、2012年度業績概況 売上高19期連続増収を更新

株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮沢俊哉）の2012年度（2013年2月期）の業績は、売上高368.03億円（前期比2.0%増）と1994年度以来19期連続で増収、受注棟数は1,946棟（前期比27.8%増）、完工棟数は1,548棟（前期比2.9%増）となりました。営業利益においては、準耐火建築物不適合問題（※1）への対応と、将来を見据えた大幅な投資を行った結果、2.86億円（前期比86.9%減）となりました。

※1 準耐火建築物不適合問題…当社が建築した計390件の住宅において一部の施工状態が準耐火建築物の大臣認定に適合していない疑義が判明し、2012年6月に公表しました。

当事業年度における日本経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな回復基調で推移し、政権交代後は新政権が打ち出す各種経済対策への期待感から、株価も回復の兆しが見られました。住宅市場においては、住宅の安全・安心、エネルギー問題への関心の高まりや、太陽光発電システムの補助金制度など、政府の住宅取得支援策が後押しとなって新設住宅着工戸数は緩やかに改善しました。また、消費税増税を前提とした住宅ローン減税の拡充や相続税課税強化などが盛り込まれた税制改正大綱が打ち出され、今後の需要拡大が期待されています。

このような経済状況の中で、当社は健全で磐石な経営基盤の構築を目指し、準耐火建築物不適合問題の対応と、大幅な投資を行いました。具体的には下記の通りです。

1. 準耐火建築物不適合問題への対応と、品質管理課の新設など管理体制の構築

疑義が判明した390棟全棟の実地調査および法定耐火性能の確認に基づく認定取得を行い、必要な場合は改修によって是正した。

2. 新規展示場の開設と既存展示場の改築などを実施し、それに伴う積極的な人材採用

新規展示場を5箇所、既存展示場改修を15箇所実施。新規学卒者97名・キャリア239名の採用活動を行い、新規学卒者においては過去最大の1万1千人のエントリーがあった。

3. 人材育成・社内環境の向上を目的とした研修の実施

新規学卒者をはじめ、全社員を対象とした職種別・階層別研修を行い、全国でのべ1,427名が修了した。

当社はこの時期にあえて投資を行いました。現在は無借入、自己資本比率30%以上を維持しており、次年度以降の利益拡大に寄与するものと考えます。

事業部門別概要

1. 住宅建築事業部門

東日本大震災以降注目の集まる「井戸」を掘る工事を付加した住宅や、エネルギー利用を最適化して光熱費収支年間プラス5万円になる住宅「ひふみ」、認定低炭素住宅に対応する「木和美S」などを発表しました。また、新規展示場出展による面展開での事業エリア拡大により、受注棟数は大幅に増加しましたが、準耐火建築物不適合問題への対応や、品質管理課の新設など管理体制の構築を最優先したことにより、完工棟数は微増となりました。この結果、当該部門の売上高は358.21億円（前期比2.6%増）となりました。

2. 工務店支援事業部門

工務店へのノウハウ提供及び工務店ネットワーク「ジャープネット」の運営を行う工務店支援事業では、会員グループによる「地域型住宅ブランド化事業」採択への支援、セミナーなど情報共有の場の提供、継続的な共同仕入商品の拡充など積極的に活動してきました。また、2年目を迎えた支援サービス「永代ビルダー塾」(※2)は、前年から20社増の30社が参加しています。しかし、景気低迷の影響などから会員数は減少し、当該部門の売上高は9.82億(前期比15.3%減)となりました。

※2 永代ビルダー塾…永代続く優良ビルダーの育成を目的として、当社やジャープネット優良会員が実践の中から培ってきたノウハウをプログラム化して伝える経営塾

損益計算書

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	金額	%	金額	%
売上高	36,066	6.7	36,803	2.0
営業利益	2,189	5.7	286	△86.9
経常利益	2,300	3.5	437	△81.0
当期純利益	1,313	5.6	8	△99.4

(金額は百万円未満切捨て表示、%表示は対前期増減率)

新商品の発表、新規展示場の出展による事業エリアの拡大によって、売上高は前期比2.0%増の368.03億円となりました。一方で、準耐火建築物不適合問題への対応や品質管理体制の刷新、新規展示場の出展とそれに伴う人材確保などの積極的な投資を行った結果、営業利益は2.86億円、経常利益は4.37億円、当期純利益は8百万円となっています。

受注・完工棟数

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	棟	%	棟	%
受注棟数	1,523	△4.7	1,946	27.8
完工棟数	1,504	3.7	1,548	2.9

(%表示は対前期増減率)

貸借対照表

	2011年度 (2012年2月期)		2012年度 (2013年2月期)	
	金額	%	金額	%
資産計	15,803	△0.9	17,836	12.9
負債計	10,030	△12.4	12,426	23.9
純資産計	5,773	28.3	5,410	△6.3

(金額は百万円未満切捨て表示、%表示は対前期増減率)

資産計は事業エリアの拡大や受注増に伴う仕掛物件の増加により、178.36億円となりました。負債計も仕掛物件増加に伴う発注増や工事前受金の増加により、124.26億円となりました。また、純資産計は持株会社設立に伴う株式移転処理や配当の影響で54.1億円となっています。

2012年3月、当社を含めたグループ会社(株式会社アキュラランドインフォメーション、株式会社エポシステム、株式会社オカザキホーム)全体の企業価値向上を目指して、「株式会社アキュラホールディングス」を設立し、持株会社体制へ移行しました。これにより、次世代の経営層の発掘、戦略と事業の分離による機動的な経営、事業会社の経営責任を明確化していきます。当社は2012年度の経験からホームビルダーの責任の重さをあらためて認識し、2013年度基本方針を「自信と信頼の創造」としています。品質管理体制の構築と人材育成の強化を図り、建築業(製造・販売)に留まらない暮らしのトータルサービスに取り組み、お客様の様々なご要望にお応えできる信頼のブランドを確立していきます。また、お引渡し後もアフターサービス「永代家守り」活動を軸に、お客様との関係を維持・強化していきます。

これらの取り組みにより、2013年度のアキュラホームの業績は、完工棟数1,865棟(前期比20.5%増)、売上高444.62億円(前期比20.8%増)を見込んでいます。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム広報課 堀越・若林 Email: aqura_pr@aqura.co.jp 携帯: 090-7843-6574
住所: 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL: 03-6302-5010 (直通) FAX: 03-5909-5560